

[成果情報名] 秋ギク「神馬」の無側枝性「中野」系統

[要約] 秋ギク「神馬」の現地収集個体「中野」系統は、無側枝性を有し、切り花品質は本県に普及している従来系統の「14号」と同等である。

[キーワード] 秋ギク、神馬、無側枝性

[担当] 総合農林試験場・作物園芸部・花き科

[連絡先] 電話0957-26-3330、電子メールarakabu@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 花き

[分類] 普及

[背景・ねらい]

秋ギク「神馬」は、腋芽が着生しやすく摘芽作業に多くの労力を要する。一方、「神馬」は、高温時期には腋芽が消失する無側枝性を有している。現場では、切り花栽培のために毎年多くの増殖が行われており、この過程で枝変わり個体が発生することも知られている。

そこで、長崎県花き振興協議会キク部会と連携し、高温時期以外でも腋芽が消失する無側枝性個体の現地探索を行い、優良系統を選抜する。

[成果の内容・特徴]

1. 「中野」系統は、側枝消失率が高く、無側枝性が強い（表1）。
2. 「中野」系統は、切り花品質が本県に普及している「14号」と同等である（表2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 無側枝性発現を促進するため、被覆栽培とする。
2. 12月以降に開花させる作型では、側枝は発生する。
3. 高温期の親株栽培では、不萌芽になりやすいので注意する。

[具体的データ]

表1 「神馬」選抜系統の腋芽消失数

供試系統	腋芽		
	葉数	消失数	腋芽消失数/葉数×100
中野系統	63.0枚	35.5本	56.3%
井上系統	63.4	21.6	34.1
愛知系統	63.7	24.0	37.7
14号	66.5	11.0	16.5
30号	61.6	4.0	6.5
41号	63.2	8.2	13.0

注1) 直挿し 2004年7月17日

注2) 電照 点灯 7月17日 打ち切り 9月5日

注3) 「14号」、「30号」、「41号」は従来系統

注4) 台風(16号、18号)接近により、8/26~9/2、9/6~9/13の間は、被覆資材を除去し、露地栽培とした。

表2 「神馬」選抜系統の生育開花特性

供試系統	電照打ち切り時		採花日	草丈	葉数	柳葉数	花首長	切り花重
	草丈	葉数						
中野系統	59.1cm	33.8枚	10/24~27	108.9cm	63.0枚	2.7枚	3.7cm	120.7g
井上系統	56.7	32.5	10/25~29	108.6	63.4	2.4	3.5	116.0
愛知系統	57.3	33.4	10/25~27	109.3	63.7	2.0	3.0	120.2
14号	61.8	35.0	10/24~25	113.3	66.5	2.2	3.7	144.8
30号	57.4	33.1	10/24~27	110.7	61.6	3.0	4.2	124.4
41号	58.5	31.9	10/24~27	113.8	63.2	2.3	4.2	140.2

注1) 直挿し 2004年7月17日

注2) 電照 点灯 7月17日 打ち切り 9月5日

[その他]

研究課題名：キクの周年栽培における安定生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2002~2005年度

研究担当者：出口 浩、諸岡淳司